

一 般 質 問

14番 原田 洋

1 湯河原町の更なる発展のための施策について

富田町長は、17年前の就任時に「行財政改革」「福祉の充実」などを掲げ、16年間にわたり全てを達成されるとともに、新たな施策についても、立案・達成されてきました。今後の湯河原町の更なる発展のためには何が必要かを見定めた上で、施策を展開していく必要があると考えます。

そこで、次の施策を推進される考えがあるか質問いたします。

- (1) 万葉公園入口付近への大型看板の設置と公園付近の県道に誘導看板を設置する考えがあるかお伺いします。
- (2) 公園内の由緒ある茶室が老朽化しているため、早急な修繕改修が必要と思われますが、考えをお伺いします。
- (3) ロケツーリズムによる実績と今後の方針について考えをお伺いします。
- (4) 役場庁舎の耐震工事又は移転の方向性等についてお伺いします。
- (5) 湯河原町の基盤施設を推進及び建設した先人を後世に知らしめるための顕彰を考えているかお伺いします。
- (6) 千歳川の景観保持及び安全策として植栽枿が40から50か所ありますが、アジサイやサツキ等を植栽する考えはありますか。また、老朽化した街

路灯は台風等による倒壊の恐れがあるため改修が望まれますが、腐食対策等を考慮した工事を考えているかお伺いします。

**1 高齢者（独居）の方や視覚障がい者の方に対する保健センターの対応
や独居の見守りについて**

住民の方から、保健センターにコロナワクチン接種の件で問合せをした際、電話に出た方の対応がよくありませんでしたと相談を受けました。今後の対応を含め、質問をします。

- (1) 湯河原町で70歳以上の独居の方は令和6年1月末現在で何人いますか。
- (2) 70歳以上の独居の方で視覚障がい者の方は何人いますか。
- (3) 視覚障がい者の方がコロナワクチン接種を希望された場合、保健センターではどのような配慮をされて対応していますか。
- (4) 視覚障がい者の方がコロナワクチン接種の付添いをお願いした際、保健センターで担当するのか、他の課へつなげるのかどちらですか。
- (5) 住民の方からの電話対応でどのようなことに配慮されていますか。
- (6) 高齢者（独居）の見守り活動を通して孤独死を防ぐことができると思います。事業者（新聞販売店・食料配達事業者等）と湯河原町は協定等を結んでいますか。

2 町内の空き家の現状と対策及び今後の対応について

これまでも他の議員が空き家対策について一般質問をしていますが、空き家の状態で老朽化し、近隣の住民が困っていると相談を受け、質問をします。

- (1) 令和6年1月末現在で行政が把握している空き家は何件ありますか。
- (2) 行政が現認して明らかに老朽化が著しい空き家は何件あるか把握していますか。地区ごとに教えてください。
- (3) 老朽化の著しい空き家について、近隣住民から苦情や相談は受けていますか。その際どのように対応していますか。
- (4) 風水害等で空き家から飛来したもので困っている住民の方もいます。相談された場合、行政はどの様に対応されていますか。
- (5) 飛来物で被害等が出た際、所有者等に町として指導をされていますか。
- (6) 今後、空き家は増えていくと思います。町の対応策をお聞きします。

1 巨大地震が発生した際の避難施設について

- (1) 避難所一覧に記載されている『本当に避難が必要な人のために、自宅での生活が可能であれば在宅避難の準備』を呼びかける中、巨大地震が発生した際、地震の避難施設として指定されている、10 施設（湯河原小学校体育館、おにわ保育園、たちばな保育園、防災コミュニティセンター、町民体育館、まさご保育園、吉浜小学校体育館、ヘルシープラザ、東台福浦小学校体育館、川堀会館）の避難テントを使用した際の収容人数、また、土砂災害が同時に発生したと想定し、おにわ保育園、たちばな保育園の2階以上に避難した場合の収容人数をお伺いします。
- (2) 奥湯河原、温泉場など地震の避難施設が近隣に無いエリアについて、二次避難所として宿泊施設にお願いする可能性はあるのでしょうか。

2 町内の空き家について

- (1) 令和5年12月13日施行『空家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律』により新設された『管理不全空家等』および『特定空家等』の件数をお伺いします。
- (2) 『特定空家等』の中で倒壊する可能性がある空き家の件数をお伺いします。

(3) 今後行政代執行する予定の空き家は、ございますか。

3 路線バスについて

- (1) 令和6年1月22日に行われた第30回地域公共交通会議におきまして、箱根登山バスより『湯河原駅～奥湯河原間』の始発および最終便、『湯河原駅～鍛冶屋間』の始発が、令和6年4月1日以降減便が発表される中、事業計画（案）では代替交通について、令和6年6月開催予定の第31回地域公共交通会議、令和6年9月開催予定の第32回地域公共交通会議、令和6年11月の第33回地域公共交通会議に予定されておりますが、現在湯河原町が検討している代替交通の進捗状況についてお伺いします。
- (2) ライドシェアを導入した場合、ライドシェア事業者も地域公共交通会議に参加する事ができるのでしょうか。
- (3) 『バスを使ってください』という意見もある中、政府が推進するマイナンバーカードに交通系ICを紐づけし湯河原町民限定割引サービスなど今後導入予定はございますか。

1 防災・災害対策について

本年1月1日発生の能登半島地震により多くの被害がありました。湯河原町における防災・災害対策については、従来より前進してきましたが、この震災を目の当たりにして今一度見つめ直すことが必要と考え質問します。

(1) 防災について

- ・崖崩れ危険地域を表示した防災マップが作られていますが、このマップに沿った点検等は実施されていますか。
- ・一人住まいの高齢者の登録制度に登録されている人数は何人ですか。また、日常的な連携はとれていますか。
- ・湯河原中学校の現在地は海浜の埋立地にあります。その高さは想定されている津波に対する基準を超えていますか。ほかの地域に移転する考えはありませんか。
- ・まさご保育園は中学校より内陸ですが、海拔的には低い場所にあります。園児の津波に対応する防災マニュアルはできていますか。
- ・町営水道は毎月の放射能検査を行い、安心安全でおいしい水が供給されています。つきましては、現在の水道施設の耐震性等の状況についてご報告ください。

(2) 災害対策について

- ・今回の震災でも断水が大きな障害となりました。飲み水に関しては応急給水袋の用意をされていますが、袋等の劣化のチェックはしていますか。
- ・発災時の対策本部設置については、防災訓練時に確認されています。連絡体制などは常時整備されていますか。
- ・公園に防災トイレを作る計画が進められていますが、町民への説明はさ

れていますか。

- ・避難所開設などの連絡体制・町民へのお知らせ体制はできていますか。
- ・避難所の備蓄食料は3日分が用意されているようですが、全部の避難所への配備は行われていますか。
- ・1月14日開催の真鶴町・湯河原町男女共同参画講演会で、避難所開設や運営などについては企画段階から女性が参加した方が良いとの話がありました。今後の取組にもっと女性が参加できるように検討できますか。
- ・今回の震災でも湯河原町から支援隊が参加しました。自治体間の救援体制の連携について説明いただくとともに、近隣自治体との連携についてご説明ください。
- ・湯河原町は災害が起きた場合、道路の寸断、鉄道の停止など陸の孤島となる可能性があります。海岸からの支援についても検討する必要があるかと思いますが、考えをお伺いします。